

今月は神農が担当です。

AIとAI

こんにちは！最近「AI」って言葉、よく聞きますよね？でも、「結局何なの？」「色々あるみたいだけど、何が違うの？」って思ってる人も多いんじゃないでしょうか？

今日は皆さんの疑問を、フランクに、そしてちょっと知ったかぶりで（笑）解説しちゃいます！

AIって一言で言っても色々あるんだぜ！

AIにも色んな種類があって、それぞれ得意なことが違うんです。人間と同じで、得意分野が違うんですよ。

今回は特に注目されている「生成AI」と「画像認識AI」の2つに絞って、その違いをざっくり見ていきましょう！

おしゃべりも絵も作っちゃう！「生成AI」って何者？

まずは最近話題の「生成AI」。これはその名の通り、「何かを生成（作り出す）する」のが得意なAIなんです。

例えば、ChatGPTみたいなチャットAIと話したことありますか？「〇〇について教えて」って聞くと、まるで人間みたいにスラスラ文章を返してくれますよね？あれが生成AIの得意技の一つ、「文章生成」です。

他にも、「画像生成AI」は、「〇〇な雰囲気猫の絵を描いて」なんて言うと、あっという間にオリジナルの画像を生成しちゃいます。

つまり、「無」から「有」を生み出すのが得意なのが生成AI！って覚えておくといいでしょう。

犬が猫か、見分けはお手の物！「画像認識AI」のすごさ！

さて、もう一つの注目株が「画像認識AI」です。こちらは生成AIとはちょっと違って、「何かを識別する」のが得意。

皆さんのスマホの顔認証ロック、あれも画像認識AIが使われています。カメラが顔を認識して、「この人は登録されてる人だ！」って判断してロックを解除してくれるんです。

スーパーのセルフレジで商品が何なのか判別したり、車の自動運転で標識や歩行者を識別したりするのも、全部画像認識AIのお仕事なんですよ。

つまり、「そこにあるものが何か」を見分けて判断するのが得意なのが画像認識AI！と理解してくださいね。

まとめ：クリエイターと鑑定士、あなたはどっち派？

ざっくりまとめると、

- ・生成AI：文章、画像など、新しいものを作り出すクリエイタータイプ！
- ・画像認識AI：画像から特定の情報を見つけ出す・識別する鑑定士タイプ！

といった感じでしょうか。

どちらのAIも、私たちの生活を便利にしたり、新しいエンターテインメントを生み出したりと、本当に可能性を秘めています。これであなたもAIマスター（の卵）ですね！ではまた！

いかがでしたか？実はタイトルからここまでは、すべてAIが作った文章なんです。すごいですよね？

ちょっと補足するなら、歯科では画像認識AIを使って、病気の発見なんかに役立てる実験が盛んにおこなわれているので、近い将来、歯医者さんでもAIに出会えるかも？

今月は

7日、21日、28日(木)は休診

12日(火)から15日(金)までお盆休みとさせていただきます。
16日(土)から通常通りの診療となります。



医療法人 SHT
まき歯科・矯正歯科クリニック
Smile Health Thanks

〒700-0975 岡山市北区今3-1-15

Tel: 086-243-1006 Fax: 086-243-1106

Mail: Makishika@do5.enjoy.ne.jp Blog: <http://blog.live.door.jp/Makishika/>